



登米市教育研究所

〒987-0511 登米市迫町佐沼字袋向 150-1

HPアドレス <http://www.tome-avc.jp/rese/>

TEL 0220-22-8029(相談専用 22-8125) FAX 22-9114



世界一シリーズ第2弾です。世界一広い湖はどこでしょうか。それはカスピ海です。その面積は約436,000km²で日本がすっぽり入ってしまうほどの広さです。すごい広さですね。ちなみに日本で一番広い湖は琵琶湖で、その広さは約669km²ということですから、いかにカスピ海が広いかが分かります。では、世界一深い湖はどこでしょうか。それはバイカル湖でその深さは1,741mだそうです。日本で一番深い湖は田沢湖で、その深さは423.4mということですよ。

第2回 算数・数学科研修会



9月6日(金)第2回算数・数学科研修会が開催されました。この研修会では、教育研究所研究員算数・数学科部会の実践発表と加賀野小学校の友永明子先生、生き生き学校支援室の千葉和幸先生から講話をいただきました。

<研修会の様子>

詳細は紙面の関係上、載せることはできませんが、実践発表では教育研究所研究員算数・数学科部会の代表2名の先生方からMATHT(マスト)を基にした授業実践の発表をさせていただきました。

◇ 算数・数学科部会の発表

「課題を自主的、協動的に解決するための授業づくり」

発表者 柳津小学校 阿部 哲也 先生

中田中学校 伊澤ゆかり 先生



<阿部 哲也 先生>



<伊澤ゆかり先生>

◇ 講話

「算数・数学科における課題づくりと指導について」

講師 加賀野小学校 友永 明子 先生 中田中学校 伊澤ゆかり 先生

登米市教育委員会生き生き学校支援室長 千葉 和幸 先生



<友永明子先生、伊澤ゆかり先生>



<千葉 和幸 先生>

参加者の感想(抜粋)

- 小学校との関連が大事で、似たような問題を繰り返し学習しているのもっと小学校の内容を確認し中学校で生かしていきたい。
- MATHTを基にした実践授業の発表は、指導の工夫の仕方について具体的に捉えることができて参考になった。
- 小中連携及び課題づくりの演習がたいへん参考になった。今後の授業づくりに生かしていきたい。
- 小学校・中学校の実践発表を聞き、自分の学級・学校での実践に生かしていきたいと感じた。

※ 実践発表の資料(パワーポイント)は生き生き学校支援室のHPIに載せる予定だそうです。是非、ご覧ください。

協働教育 兼 コミュニティ・スクール研修会



9月11日(水)中田農村環境改善センターを会場に協働教育兼コミュニティ・スクール研修会が開催されました。

この研修会は宮城県東部教育事務所と教育研究所との共催で毎年開催されている研修会です。

<講師の四柳千夏子 先生>

講師はみたかSCサポートネット代表理事でCSマイスターの四柳千夏子先生です。「地域とともにある学校づくりに向けて」～子供たちのために、地域の私たちにできることは～と題して講話をいただきました。

概要は以下の通りです。

- コミュニティ・スクール委員会(=学校運営協議会)の権限と役割
 - ・校長が作成する学校運営の基本方針を承認しなければいけない。
 - ・学校運営について、教育委員会または学校長に意見を述べるができる。
 - ・教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。
- コミュニティ・スクール委員会とは・・・
 - ・子どもたちの未来に対して当事者意識をもった承認機能のある公式な合議体
- コミュニティ・スクールであるために必要な視点は・・・
 - ・学校のパートナーとして 貸し借りの存在になってはいけない
- 学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進でより効果的に
- コミュニティ・スクールは目的じゃない！ 目的はただ一つ
 - ・学校経営方針→(熟議)→承認→協働→(成功体験)→振り返り→(評価)→学校経営方針・・・ 全てのプロセスを共有すること！
 - ・目指すべき子どもの姿(目標)を共有しましょう！
- 学校と地域の協働の次の姿～キーワードは「社会に開かれた教育課程」
 - ・何を知っているか、何ができるか(個別の知識・技能)
 - ・知っていること・できることをどう使うか(思考力・判断力・表現力)
 - ・どのように社会・世界に関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力・人間性等)
 - ～変化の中に生きる社会的存在として力をつける→「生きる力」
- 協働を推し進めるために、現場で必要なこと
 - ・学校がやりたいこと←→地域が求めていること
 - コーディネーターがつなぎ役として調整
- 子どもの豊かな育ちは、地域全体の責任
- 地域の「強み」「魅力」を見つけよう！学校だけでやることではない！
- 参加から「参画」へ、協力・支援から「協働」へ～本物のパートナー～

後半はグループワークを行いました。地区別のグループで「生きる力」を育むためにどのように取り組んでいけばよいかについて「熟議」し、発表し合いました。



<No.12の答え>

ある国とは日本で、馬は群馬県、鹿は鹿児島県、熊は熊本県、そして、もう一つは鳥(鳥取県)です。

頭の体操

価格	→	米	→	氷
椅子	→	?	→	空気

?に入ることは何でしょう。(ヒント:体の一部分です。英語で表すと・・・)